

A-2 研究構想図

生徒の実態
保護者の願い
地域の願い
教師の願い

学校教育目標
確かな学力を持ち、心豊かで、健康でたくましく行動する生徒の育成を目指す
(1)豊かな学力の育成
(2)豊かな人間性ととも生きる力を育む
(3)健康の保持増進と体力向上を図る

学習指導要領等
石川の学校教育振興ビジョン
能登町教育委員会教育目標
社会の要望等

研究主題
学んだ知識・技能を、自ら活用する生徒の育成
～関心・意欲を高める授業を基盤として～

研究仮説
(1) 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、授業の中に学び合う場を設定すれば、「活用力」は高まるであろう。
(2) 生徒の学習意欲や表現力を高める取り組みを工夫すれば、「活用力」は高まるであろう。

確かな学力（知識・技能、学ぶ意欲、思考力、判断力、表現力、課題発見能力、問題解決能力、学び方）
↑
「知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等（活用力）の向上

活用力を身に付けた生徒
「学びを活かし、自分の考えを持ち、的確に伝えたり、他の考えを受け止めたりすることができる生徒」

授業の改善
・「活用力」を育むための学習過程の工夫
・各教科における「活用力」学年別到達目標の設定
・学習形態の工夫
・積極的な授業研究

基礎的・基本的な知識及び技能の定着
・基礎学力調査及び全国学力・学習状況調査の活用
・放課後学習の実施
・各種コンテストの実施
・CRTの実施及び活用

学習の基盤づくり ・新聞記事の活用 ・卒業生による講話 ・高等学校等との連携

家庭・地域との連携 ・家庭との連携 ・小学校との連携 ・地域との連携